

長野日報 2019年(令和元年) 10月28日 月曜日

## 飯田女子短大キャラのストラップ 駒工高「助っ人同好会」作製

駒ヶ根市の駒ヶ根工業高校「助っ人同好会」は、飯田女子短期大学(飯田市)で健康増進を目的とするそしゃく促進の啓発活動に取り組む「かみかみサークル」の依頼を受け、啓発キャラクター「かみかみ大使カミン」のアクリル製ストラップを作製した。24日には同好会の生徒が短大を訪れ、サークル活動に励む学生に現物を手渡した。

助っ人同好会は工業技術を社会のために役立てる目的で活動。会員12人が校内の機械でさまざまな品物を手作りしている。ストラップは今夏、同好会の活動を知ったサークル顧問の安富和子教授(中川村)が作成を依頼していた。カミンは健康な白い歯をモチーフにしたキャラクター。同好会の生徒たちは、ストラップを量産するための原型作りから始め、厚さ3ミリのアクリル板をレーザー加工機で形にくりぬき、塗装を重ねて注文の100個を仕上げた。作製した上山大河さん(16)「機械科2年」は「最初のデータ作りの位置設定には気を配った」と作業を振り返った。



そしゃく啓発キャラクターカミンのストラップを短大生に手渡す駒ヶ根工業高校「助っ人同好会」の生徒たち(左側)

子どもたちに配りたい」とにも根気よく取り組んで喜んで。助っ人同好会顧問の「た」と生徒たちをねぎらった。石澤育博教諭は「細かな作業」(佐々木孝彦)

